

# オンライン SDGs プラットフォームを用いた 企業、自治体、研究者の交流促進

～SDGs を切り口とした企業シーズと地域ニーズのマッチング～

環境人間学部・研究科 社会デザイン系

○准教授 ますはら 増原 なおき 直樹

## キーワード

SDGs（持続可能な開発目標）、民間企業、シーズ、地域（地方自治体）、ニーズ、マッチング

## 研究概要

2015年に国連でSDGs(持続可能な開発目標)が採択された後、17の分野にわたる169のターゲット(目標)の達成に向かって、「誰ひとり取り残さない世界」をめざす取り組みが活発化しています。また、その進捗を把握するために、232の指標が設定されています。

本研究では、環境省環境研究総合推進費の「課題名：ローカル SDGs 推進による地域課題の解決に関する研究(JPMEERF20211004)」の支援を受け、国内の地域(都道府県や市区町村)で「ローカル SDGs」の具体化を検討しています。例えば、SDGs 達成のために実施されている具体的な活動や行政計画に関してデータを収集し、データベースとしてとりまとめ、全国の傾向や先進事例を分析・抽出しています。



図 SDGs 関連活動の交流サイト platform-clover.net

中小企業の皆さまがSDGsに関して感じておられる課題は何でしょうか——「SDGsって、中小企業でも取り組んだほうが良いのだろうか。そのメリットは?」「関心はあるけれど、何から始めればよいのか、わからない」「わが社の得意とする技術やサービスはSDGsに関連しているのだろうか?」

こうした疑問に対して、本研究では上記のデータベースや交流サイトの登録情報を活用して、SDGsに取組もうとする中小企業が持っている技術やサービスのシーズとマッチングできる可能性のある地域を具体的に紹介します。交流サイトには、地域の具体的な悩み、ニーズが登録されており、地理的に離れた地域であっても、地域のニーズと企業のシーズを結び付けられる仕組みとなっています。

## アピールポイント

上記の交流サイトは、共同で研究実施しているグループが運営しているので、本研究の一環として、上記の交流サイトを紹介して終わるというのではなく、

①SDGsの基本や企業へのメリット、活動事例などに関する研修講師の紹介、

②交流サイトの効果的な使い方、登録方法のアドバイス、

③御社の技術シーズ・サービスについてヒアリングさせて頂き、その結果に基づき具体的な地域の紹介、

④マッチング相手となる地域の政策、取組みの解説など、

可能な限り、御社の要望に応じたきめ細かなサポートを予定しています。

ご関心のある方は、お気軽に下記までご相談ください。

アドレス：[nmasuhara@shse.u-hyogo.ac.jp](mailto:nmasuhara@shse.u-hyogo.ac.jp) 担当：増原